



にじ

vol.20

JA北海道厚生連
遠軽厚生病院
遠軽町大通北3丁目
tel (0158) 42-4101

令和3年3月

Rainbow

ごあいさつ

JA北海道厚生連 遠軽厚生病院
事務部長 舛岡隆志



昨年二月に、南事務部長の後任として赴任してまいりました舛岡（ますおか）と申します。「にじ」第20号の発行にあたりご挨拶申し上げます。

昨年、世界中で猛威を振るい世の中を一変させた新型コロナウイルス感染症は、年を超えてもなおその勢いは衰えず、今なお新規感染者数は増大しています。緊急事態宣言や急ピッチで準備が進められているワクチン接種などの対策によって早く感染が収束に向かう事を祈ります。

思い返すと、私が遠軽に赴任した直後、全国に先駆けて北海道、中でも北見と札幌でクラスターが発生しました。当院は第二種感染症指定病院として、圏域内の他の中核病院とともにオホーツク医療圏の地域医療

を守るため、感染した方の受け入れを開始し、三月末には北見のクラスターも収束しました。

その後も、圏域内で散発する感染者を受け入れてまいりましたが、昨年四月と五月に院内感染に遭遇し、約一か月あまり診療機能を制限せざるを得ない状況となつてしまいました。その際には、地域住民の皆様はもとより、圏域内の医療機関、介護施設その他関係機関の皆様には、多大なるご心配とご負担をお掛けし、衷心よりお詫び申し上げます。また、この間、地域の皆様や関係各位から多くの励ましを賜り、最前線で戦い続ける職員は大いに勇気づけて頂きました。病院職員に代わり心より感謝申し上げます。

当院は、発熱患者の診療や相談を二十四時間受け入れており、引き続き遠紋地区の地域センター病院として、地域医療の維持・確保に貢献してまいります。

さて、当院が位置する遠紋医療圏は、2015年に約7万人であった人口が2025年には約6万人、2035年には約4万7千人に減少すると推計されており、医療を取り巻く環境はますます厳しさを増してま

います。そのような中であつても、地域の皆様がいづみまでも住み慣れた土地で生活を続けるためには、住まいを中心とした暮らしのための生活支援や介護予防サービス、介護が必要になった場合の介護福祉サービス、そして、病気になる場合の医療サービスが一体的に提供されるよう、病院や介護福祉事業者はもとより、行政や自治会、ボランティアを含めた関係者が密に連携し、地域全体をカバーする仕組み（地域包括ケアシステム）を充実させることが重要です。

当院は地域センター病院として、地域包括ケアシステムの中の医療分野において、急性期医療や急性期を脱した方が自宅に戻るための回復期医療を提供するため、経験豊富な医師を擁し日々診療に当たっております。特に心筋梗塞では当院で最先端の専門的治療が可能であり、一刻を争う場面で遠方の病院まで搬送することなく治療を開始できます。また、がん診療では消化器がんを中心に都市部と変わらぬ極めて高度な内科的、外科的治療が可能です。さらに、平成27年に一度医師不在となつてしまいました周産期医療につきま

しては、遠軽町様のご支援を頂きながら産婦人科医にお越しいただき、平成28年11月より分娩受入を再開しており、出産件数も年々増加しています。

引き続き、地域の皆様に求められる医療を提供するため、より充実した病院となるよう微力ながら努力してまいりますので、皆様の益々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止は、ひとりひとりの感染対策から

JA北海道厚生連 遠軽厚生病院
感染対策室 感染対策科
山澤由香里

これまでも季節性インフルエンザの流行時期等で、手指衛生や咳エチケットが推奨されてきました。しかし、なんとなく他人事として捉えていた方もいたのではないのでしょうか。感染対策に関わる者として、新型コロナウイルス感染症は、私達の日常の感染対策を見直すきっかけを与えてくれたように感じています。

これからも新型コロナウイルス感染症と戦う日々は続きます。ひとりひとりの感染対策が、集団感染や地域の感染拡大の防止となり、自分や家族が安全に過ごせる日常につながると思います。感染防止対策の輪を皆さんで広げていきましょう。



根拠を知って実践しよう！感染防止のポイント

新型コロナウイルスは、目や鼻、口の粘膜に入り込み感染すると言われていますので、この箇所を保護するための対策が必要になります。

なぜ手指衛生が必要？

人は“無意識”に顔を触っています！



(参考文献)
Yen Lee Angela Kwok, Jan Gralton, Mary-Louise McLaws. Face touching: A frequent habit that has implications for hand hygiene. Am J Infect Control. 2015 Feb 1; 43(2):112-114 (<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7115329/>)

ウイルスは健康な皮膚には入り込むことができず、表面に付着するだけ…

そこで重要なのが手指衛生になります

流水と石鹸による手洗いのほかに、ウイルスの表面にある膜（：エンベロープ）を壊すのにアルコール含有の手指消毒薬も有効です。1回の手指衛生に2つの方法を取り入れる事が間違いではないですが、手荒れに繋がる事もあります。普段の手指衛生の際は、手洗いもしくは手指消毒薬のどちらかを選択します。手指衛生の際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りがやすいため、これらの部位は特に念入りにしましょう。

「何かをする」前と後には手洗いまたは手指消毒をしましょう

“手洗い”の5つのタイミング

公共の場所から帰った時



咳やくしゃみ、鼻をかんだ時



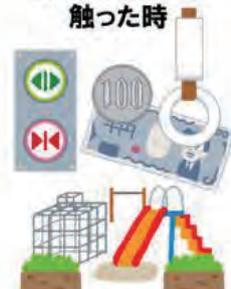
ご飯を食べる時



病気の人へのケアをした時



外にあるものに触った時



前と後！

マスクは正しく付けなきゃ意味がない

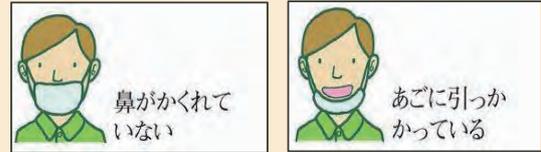
「ユニバーサスマスキング」知っていますか？

新型コロナウイルスは症状が出る2日前から感染力があると言われています。ユニバーサスマスキングとは、無症状、軽症感染者からの飛沫を防止するために普段からマスクをつけることです。

正しいマスクの着用



マスクの間違った使用例



正しいつけ方は、鼻・口・顎を覆うこと

マスクの表面には、ウイルスが付着している可能性があるため、ずれた時や外す時は、マスクの表面ではなく、端やゴム紐を触って直したり、外します。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

「密閉」「密集」「密接」しない！

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意！

他の人と
十分な距離を取る！



窓やドアを開け
こまめに換気を！



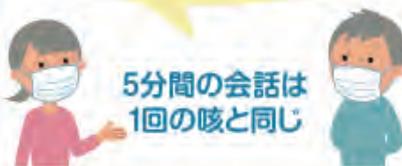
屋外でも密集するような
運動は避けましょう！
少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫



飲食店でも距離を取りましょう！
・多人数での会食は避ける
・隣と一つ飛ばしに座る
・互い遠くに座る



会話をするときは
マスクをつけましょう！



電車やエレベーターでは
会話を慎みましょう！



出典：首相官邸HPより

こんにちは

遠軽地域訪問看護ステーション にじ



【訪問看護とは？】

病気や障害があっても、自宅で暮らしたいと望む方々のお宅にお伺いし、在宅療養を支援させていただきます。その際には、医師、看護師、MSW等はもちろん、地域のケアマネジャーや地域包括支援センター、地域の保健師などとも協働し利用者様の在宅生活を多方面から支援します。具体的には、

- ・ 症状の観察、療養上の世話
- ・ 医療機器の管理
- ・ リハビリテーション
- ・ 認知症の看護
- ・ 医師の指示による医療処置
- ・ 褥瘡など創傷の予防、処置
- ・ 療養環境改善のアドバイス
- ・ 家族の介護相談
- ・ 様々な在宅ケアサービス（社会資源）の使い方相談 等を行っています。



小児の訪問看護も行っています

入院していて「そろそろ退院だけど心配」という方いませんか？

「入院中と同じようなケアが必要だが、家族だけでは不安がある」

「医療機器をつけて退院するが家族が正しく操作できるか心配」

「最期は家で過ごしたい」 など…

外来通院している方でも、こういう方いませんか？

「薬が飲めているか心配」

「入院が必要だけれど拒否している」

「家族が家で看るのを不安に思っている。」 など…



お気軽にご相談ください

TEL 0158-42-4397

遠軽厚生病院広報誌「にじ」の第20号を発刊いたしました。地域の皆様に、当院の医療活動を紹介させていただくことを目的とし、今後も号を重ねていく予定です。

当誌に関する御意見・御要望がございましたら、広報誌編集委員会まで御連絡いただけますよう、お願い申し上げます。

編集委員長・小児科主任部長 田中 聡